

授業科目名	障害者福祉論 21	単位数	2
担当教員名	大溝 茂	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。</li> <li>・多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槿の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</li> <li>・個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探求能力を身につけていること。</li> <li>・共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</li> </ul>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) 障害の概念及び歴史的経緯、障害者の今日的状況について理解する。</p> <p>(2) 障害者福祉における支援・援助の実施体制及び法体系・制度内容の理解と社会福祉士として期待される知識・技術、価値・倫理を修得する。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>障害概念及び障害者の生活実態と支援・援助課題を把握し、具体的実践に必要な知識・技術を修得する。特に支援・援助の実施体制及び法体系と制度内容の理解し、社会福祉士としての専門職倫理・規範について学修する。</p>			
<p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 障害概念と特性</li> <li>2 障害者福祉の理念と障害者観の変遷</li> <li>3 障害者福祉の歴史と経緯・発展過程</li> <li>4 障害者生活実態と社会的環境</li> <li>5 障害者への支援・援助に関する法体系・制度①</li> <li>6 障害者への支援・援助に関する法体系・制度②</li> <li>7 障害者への支援・援助に関する法体系・制度③</li> <li>8 障害者の自立支援制度と実際①</li> <li>9 障害者の自立支援制度と実際②</li> <li>10 障害者支援・援助に関わる実施体制・組織、機関等</li> <li>11 障害者と家族等への支援・援助に関わる専門職の役割</li> <li>12 障害者と家族等への支援・援助に関わる実施体制と関係機関・専門職等</li> <li>13 障害者福祉における多職種・機関連携</li> <li>14 障害者の人権及び権利擁護と社会福祉士としての倫理・規範</li> <li>15 障害者福祉の今後の課題と将来展望</li> </ol> <p>定期試験</p>			
<p>テキスト</p> <p>(社)日本ソーシャルワーク教育学校連盟 (編)</p> <p>『最新 社会福祉士養成講座⑧ 障害者福祉』中央法規出版 2021年</p>			

参考書・参考資料等

- (1) 石渡 和実『Q & A障害者問題の基礎知識』明石書店 1997年
- (2) 大漣 憲一『障害ってなんだろう』旬報社 2002年
- (3) 谷口 明広『障害をもつ人たちの自立生活とケアマネジメント』ミネルヴァ書房  
2005年
- (4) 石渡 和実『「当事者主体」の視点に立つソーシャルワーク はじめて学ぶ障害者福祉』  
みらい 2007年
- (5) 茨木 尚子ほか『障害者総合福祉サービス法の展望』ミネルヴァ書房 2009年
- (6) 佐藤 久夫・小澤 温『障害者福祉の世界（第5版）』有斐閣アルマ 2016年
- (7) 小澤 温（編）『よくわかる障害者福祉（第6版）』ミネルヴァ書房 2016年
- (8) 坂本 洋一『よくわかる障害者総合支援法（第2版）』中央法規出版 2017年

学生に対する評価

レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。